

# となりぐみ

# 21

## 大森西地区地域情報紙

《発行》  
地域力推進大森西地区委員会  
《編集》  
となりぐみ 21 編集委員会  
《事務局》  
大田区大森西特別出張所  
所在地：大森西 2-16-2  
電話：3764-6321  
大森西管内人口 令和5年5月1日現在  
人口 60,259名  
世帯数 35,976世帯

★【ホームページ版「となりぐみ 21」開設中!~ぜひご覧ください~】

大田区ホームページ 地域情報紙となりぐみ21

検索

### 堀之内自治会 救急救命講習体験

二月十八日、大森消防署山谷出張所で救急救命講習会を開催して頂きました。  
理事・女性部十六名参加。  
四人一組でAEDの使用、ダミー人形での心肺蘇生を体験しました。



額への包帯巻き、腕を怪我した場合の三角巾の使用方も体験しました。



またその他緊急事象の対応をビデオで講習して頂き約二時間貴重な体験でした。



今後事故等に遭遇した場合、一度の講習体験でもAEDを持って来ることが出来ると感じました。この二年以上自治会の行事が無く久々の共同作業で充実した二日間でした。

大森堀之内自治会 落合 一美

### 大森学園 ブラスバンド部 定期演奏会



三月二十六日大森学園高等学校ブラスバンド部定期演奏会が開催されました。

会場は超満員。コンクール課題曲「ブルースプリング」で開演。続いて古(いにしえ)を思い浮かばせる和の調べで、「さくらさくら」が始まります。穏やかな調べから迫力のある演奏へ、アレンジの素晴らしい心に奪われます。東京都吹奏楽コンクール金賞受賞に拍手。

その後ディズニー映画テーマソング、おなじみの「宇宙戦艦ヤマト」アニメ「名探偵コナン」と続き「マツケンサンバII」ではマツケン?とチャリデーティング部が「オーレ!」と賑やかに踊ります。



最後の曲はディズニーメドレー、ディズニーキャラクターのカチューシャを付けた奏者が演奏に合わせ手をたたき感動の終演。素晴らしい音色はどのような言葉でも表現できません。次回の定期演奏会にぜひご来場を。

編集部

### 外(そと)プログラム

東京都大田福祉工場で勤務する、体を動かすのが大好きな人たち、ゲームや遊びを見学する人、老若男女の皆さんが、毎週月曜日から金曜日の十五時十五分から大森西二丁目児童公園(きのこ公園)で、責任者の指導のもと、地域交流の一貫として外プログラムを行っています。



この外プログラムには、たまたま公園に遊びに来ている、地域の小学生たちと一緒に体操、ストレッツ、どん・じゃんけんぼんゲーム、交代で、ボール投げて受け取るなどの遊びをしています。当日、外プログラムに参加していた大田福祉工場の方々と、小学生達に感想を聞いたところ、皆さん一致して『楽しい!』と笑顔で答えてくれました。老若男女と小学生が一同に集まり、ゲームや遊びをしている様子、ベンチに腰かけその様子をにこやかに見ている姿を見ると、とてもほのぼのとした気持ちになりました。

この後、大田福祉工場の方たちは、公園前から福祉工場の通りを落ち葉や、ごみの清掃をして十六時に外プログラムが終了になります。

大森西二丁目三和会 安東 陽子

### 大森西の写真展



四月二十九日(土) 大森西図書館多目的室で「大森町を元気にするプロジェクト大森西図書館」主催の「大森西の写真展」が開催されました。

図書館と地域が一緒になった交流の場で、住民の親睦を深め、地域の良さを知り、地域を元気に盛り上げることを目的にした活動の第一弾です。



会場には東邦医大、大森学園、日新幼稚園、地域や区民の方から提供された昭和三十年頃の懐かしい写真を中心に失われた風景、変わりゆく街と人、また、実物の「オニタビ工場の看板」、三輪神社の所蔵半被、写真集、雑誌と大森西の魅力が多数展示されていました。

来場された方々が古い写真に現在を重ね、懐かしい商店街の地図に昔話に花を咲かせる和やかな会場でした。

編集部

「となりぐみ21」は各ご家庭に配布しています。一部ずつお取りください。



# 七夕とそうめん

七月という七夕をイメージします。インターネットで七夕の由来を調べていたところ七月七日はまた「そうめん」の日であることを知りました。その記事を紹介し

「七夕とそうめんは古くから関わりがあり、江戸時代には七夕に食すものとして既に一般的だったんです。昔から中国では病を避けるまじないとして、七夕に『素餅』と呼ばれる食べ物が食されてきました。小麦粉などを練って紐状にしたものです。これが変化してそうめんになったと言われています。」

ほかにも、平安時代の書物に「宮中で食べていた習慣が一般に普及した」とあったそうです。私は今年の七夕は意識してそうめんを食べようと思います。また、歌にもなっていますが「五

# 精霊流しが華やかに

「去年のあなたの思い出がテーパーコーダーからこぼれていますくそしてあなたの舟のあとをついてゆきましょう精霊流しが華やかに始まるのです」この歌詞はさだまさしさんの「精霊流し」の一節です。



お盆の最後に行われる「送り盆」では送り火が焚かれます。玄関先やお墓の

コーシャハイム大森東自治会 網島光枝子 大森東一丁目町会 落合一美 大森堀之内自治会 石井 忍 大森中八幡自治会 小峰 剛 本宿町会 布施英男 大森鶴渡町会 平林孝次 大森町自治会 金井昌子 大森山谷自治会

色の短冊」についても紹介します。色は中国の「陰陽五行説」に由来するもので、人間が生きる上で大切な考え方である「五徳(仁、礼、信、義、智)」に通ずるものとして短冊の色ごとに意味をこめたそうです。

・木 緑(青) 徳を積む、人間力を高める  
・火 赤 父母や祖先への感謝の気持ち  
・水 黒(紫) 学業の向上  
・土 黄 信頼、知人、友人を大切に  
・金 白 義務や決まりを守る

(参考:ウチコト・カジドレ) 大森堀之内自治会 落合 一美



撮影会モデルさんと娘3歳の時の写真

前でも行われますが、京都の「大文字焼き」や各地で行われている「灯籠流し」も御先祖様を浄土に送る行事です。

数年前に大森ふるさとの浜辺公園で「キャンドルナイトinふるさとのはまべ」が開催され、砂浜の灯籠・キャンドルに明りが灯り、水面には六個の「ゆめ灯籠」が流れるとても幻想的な夜でした。



花火大会や盆踊りも霊を慰める行事です。今年のお盆、近くの浜辺や近くの川で環境に配慮し、亡き人を偲ぶ精霊流しができたらいいですね。

大三都連 岩本 彰夫

# 「ご近所半日旅」

お出かけが出来ない日々の中「ご近所半日旅」という本を見つけました。ご近所の旅を普通は散歩と云うんじゃないかと思いつながら読み進むと、旅人は旅先の景観に見とれ、神社仏閣に興味を持ち、郷土料理に舌鼓を打っている。

それと同じようにご近所の散歩を旅人モードへスイッチを切り替えて歩いてみると述べています。



境内の二体の狛犬に注目。一般的な狛犬と霧困気が違うことに気がつく。

それそれぞれの姿が異なっていて、今にも獲物に飛びかかるがごとき姿は迫力十分。拝殿に彫り巡らされている龍、獅子の子落としなど迫力ある彫刻も見事でした。



御祭神の「建御名方神」は武田信玄など武将が崇敬した武神として誉れ高い神様とか、その神様を守るガードマンたち、勇ましい狛犬や龍と獅子の姿に納得。

氏神様にお加護をお願いし帰路へ。昼飯は満開の桜に囲まれている町中華「牡丹江」で好物の天津麺を頂き満腹。近くて短い、ご近所を再発見する旅になりました。

大三都連 岩本 彰夫

# 山の手一周ウォーク

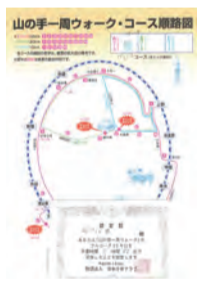
平成二十二年四月二十九日毎年開催される、日本万歩クラブ主催の、山の手一周ウォーク。

自分の体力に合わせコースがA、B、Cに距離数が決められている。私は毎回Aコースの三五キロを歩く、前回よりは歩行時間の短縮を目指して。

上野公園広場、西郷さんの銅像前には参加者多数集合する。スタートは八時予定ですが、いつも早めのスタートになる。

上野公園には朝六時には行き朝食を食べながら登録をする。スタート順がトップグループに入らないと歩いていても前のグループを追い抜けない、楽しく横一列でお話している女性たち歩道上で抜くのは大変です。

狭い不忍通りから目白通り、千登勢橋の所で階段を下りて、明治通り、ひたすら歩く、歩く新宿からは山手通り、恵比寿からは、ガードンプレイスの前を通り目黒駅、線路沿いに五反田駅に、八ツ山の坂を過ぎて品川駅第一京浜(中央通り)を我慢の歩き、銀座では歩行者天国、大変歩きやすい、元気な若ものなどは競歩の歩き、僕のペースは一キロ十分の歩きです。



歩道の信号では待ちながらも神田駅ガードを抜けて秋葉原駅前を通って行く仲間もいる、三五キロ完歩、公園ではゴールチェックで認定書を確認前回より、十分短縮でした。

大森東一丁目自治会 緑川 祐弘

# あなたも街のアーティスト!



大田区では、地域住民の皆様の文化活動を紹介し、また皆様を楽しめる場所として、絵画、書、写真などを展示する区民ギャラリーを特別出張所に設置しています。皆様の作品を紹介する場として、お気軽にご利用ください。区民ギャラリー大森西の展示方法等は、左記のとおりです。ご興味のある方は、大森西特別出張所までご連絡ください。

《申請方法》 展示をご希望の方は、展示月の前月10日から申請を受け付けております。使用申請書は、大森西特別出張所にてお渡します。また、大田区のホームページでも掲載しております。ただし、多数の申請がありスペースを超える場合は抽選となりますので、予めご了承ください。

《展示作品》 絵画、書、写真など  
《利用できる方》  
個人：区内に在住、在勤、在学の方  
団体：出品者の半数以上が区内に在住、在勤、在学の団体  
《展示場所》  
区民活動支援施設大森 (こらぼ大森) 1階の軽食コーナー

編集委員

岩本彰夫 大森西三都団地連合町会 編集長

緑川祐弘 大森東一丁目自治会 副編集長

湯本良太郎 大森本町二丁目自治会 編集委員

川崎亮夫 大森本町北町会

金澤利奈 大森本町二丁目新地町会

花館敏雄 大森澤田東町会

杉原弘之 大森沢田西町会